

■ 北川物産グループの沿革

●北川物産(株)系 ●北川建設(株)系 ●日本海生コン(株)系 ●その他グループ系

- 昭和21年5月1日
 - ・北川理吉が荷馬車運送を始める。
- 昭和23年7月1日
 - ・北川理吉商店を創業、建築土木資材販売業を営業。
- 昭和35年2月1日
 - ・犀川筋にドレージャー1基を配置、機械採取を開始。
- 昭和37年8月20日
 - ・金沢市大桑地内に砂利プラント設備を建設し、大桑工場とする。
- 昭和38年6月22日
 - ・金沢市笠舞町地内に北川石油店を開設した。
- 昭和40年4月5日
 - ・建設業を分離独立し、(株)北川組を設立した。資本金1,000万円。
- 昭和41年3月21日
 - ・大桑工場に新たに砕石プラント設備を増設した。
- 昭和42年3月16日
 - ・金沢市大桑町地内に生コンクリートプラント設備を建設した。
- 昭和43年9月20日
 - ・(株)北川組を北川建設(株)に称号を変更する。資本金2,000万円。
- 昭和43年10月1日
 - ・北川生コンクリート大桑工場、北川組、北川石油店を統合し、北川物産(株)を設立した。資本金3,000万円。
- 昭和44年7月12日
 - ・金沢市板ヶ谷町地内に山砕石プラント設備を建設し、北川物産(株)湯涌山砕石工場とする。
- 昭和45年5月1日
 - ・北川物産(株)のメンテナンス部門として、自動車整備工場を開設した。
- 昭和45年8月18日
 - ・生コン部大桑工場の日本工業規格表示許可を取得し、J I S表示許可工場となる。
- 昭和47年3月31日
 - ・北川物産(株)自動車整備工場が自動車分解整備事業認証工場の許可を取得した。
- 昭和47年8月10日
 - ・北川建設(株)が特定建設業の許可を取得した。石川県知事許可(特)第000227号
- 昭和47年8月13日
 - ・北川物産(株)のレジャー部門として、ゴルフ練習場を建設し、名称を「花里ゴルフ」とする。
- 昭和50年6月27日
 - ・日本海商事(株)を設立し、セメント・建材等の販売を行う。資本金2,000万円。
- 昭和53年5月1日
 - ・金沢市専光寺町地内に北川物産(株)生コン部の第2工場として専光寺工場を建設した。
- 昭和54年5月14日
 - ・北川物産(株)生コン部専光寺工場が日本工業規格表示許可を取得し、J I S表示許可工場となる。
- 昭和56年7月1日
 - ・日本海商事(株)において、太平洋セメント(株)(旧日本セメント(株))の特約代理店契約を締結した。
- 昭和61年11月21日
 - ・北川運輸(株)を設立し、一般区域貨物自動車運送業の免許を取得した。資本金4,500万円。許可番号：中運自貨二第1323号
- 昭和63年3月11日
 - ・北川物産(株)生コン部専光寺工場を独立させ、北川生コン(株)とする。資本金1,000万円。
- 平成2年8月1日
 - ・北川物産(株)が金沢市の産業廃棄物収集運搬業の許可を取得した。
- 平成3年9月1日
 - ・金沢市東町地内に、浅の川温泉「湯楽」を開湯した。
- 平成4年6月15日
 - ・北川物産(株)のコンクリート試験室及び従業員の厚生施設を近代化した。
- 平成8年2月1日
 - ・北川生コン(株)を北川物産(株)に併合、北川物産(株)北川生コン工場とする。
- 平成8年3月29日
 - ・北川物産(株)大桑工場内にコンクリートリサイクルプラント設備を建設し、工場名称を「リプラ」とする。
 - ・金沢市の産業廃棄物処分業の許可を取得した。
- 平成9年2月12日
 - ・北川物産(株)生コン部大桑工場及び北川生コン工場の生コンスラッジ水再利用施設(リカバー廃棄水処理システム)を設置し、廃棄物資源の再利用の一助とする。
- 平成10年11月5日
 - ・北川物産(株)で特定建設業の許可を取得。
 - ・(株)千代田プロダクションを設立し、レコード・CD等の製作販売、歌手の育成及びマネジメントを行う。資本金2,000万円
- 平成11年8月11日
 - ・浅の川温泉「湯楽」をリニューアル。バリアフリー対応設計・サウナ新設・ジャグジーバスの設置・駐車場の拡張した。
- 平成11年12月20日
 - ・北川物産(株)生コン部大桑工場の生コンプラント設備を新設した。

- 平成12年7月13日
 - ・北川物産(株)湯涌山砕石工場の砕石プラント設備を増設した。それに伴い、積込機械(4 m³バケツト、5 m³バケツト)、掘削機械(3.5 m³バケツト)並びにダンパー(32 t 積載、40 t 積載)を大型化した。
- 平成13年3月9日
 - ・北川建設(株)が土木工事の施工に関しての品質マネジメントの国際規格ISO9001:2000の認証を取得した。
- 平成13年8月1日
 - ・北川物産(株)が石川県の産業廃棄物収集運搬業の許可を取得した。
- 平成14年9月1日
 - ・東明産業(株)と北川物産(株)の生コンクリート工場を集約化し共同生産会社「日本海生コン(株)」を設立し、北川物産(株)の北川生コン工場のJISを承継し操業開始する。資本金3,000万円
- 平成16年11月12日
 - ・北川建設(株)が、土木工事の施工に関しての環境マネジメントの国際規格、ISO14001:1999の認証を取得した。
- 平成16年12月21日
 - ・北川物産(株)生コン部大桑工場を高強度コンクリート製造の大臣認定を受ける。
- 平成18年1月26日
 - ・北川物産(株)並びに日本海生コン(株)が日本工業規格表示認証工場となる。
- 平成19年4月19日
 - ・日本海生コン(株)の本社を金沢市大桑町チ155番地に移転した。
- 平成19年5月1日
 - ・日本海生コン(株)と北川物産(株)大桑工場を再集約化し、同工場のJISを承継し操業を開始する。
 - ・日本海生コン(株)の資本金を5,000万円に増資する。
- 平成20年7月28日
 - ・早朝、浅野川上流地区の集中豪雨により北川物産(株)湯涌山砕石工場並びに浅の川温泉「湯楽」が被災した。特に湯涌山砕石工場は土石流が工場構内に入り壊滅的被害を受けた。(被災総額約10億円)
- 平成21年2月28日
 - ・北川物産(株)大桑リプラ工場にロールクラッシャーを設置し合理化を図った。
- 平成21年3月20日
 - ・北川物産(株)湯涌山砕石工場に自走式ベルトコンベアーを導入した。
- 平成21年9月25日
 - ・北川物産(株)湯涌山砕石工場に自走式スクリーンを導入した。
- 平成22年10月26日
 - ・日本海生コン(株)本社工場で高強度コンクリート製造の大臣認定を受ける。
- 平成23年2月28日
 - ・日本海生コン(株)本社工場で残水処理装置を設置した。
- 平成24年4月1日
 - ・北川物産(株)笠舞給油所で貯油タンクの入替に伴い給油設備、建物等をリニューアルした。
- 平成25年9月4日
 - ・北川物産(株)湯涌山砕石工場に常用エンジン発電機を導入。効率的な運転とコスト削減により安定した製品の供給を目指す。
- 平成25年9月10日
 - ・北川物産(株)大桑リプラ工場にハイブリッド型油圧ショベルを導入。低騒音・低燃費・低公害により環境に配慮する。
- 平成26年2月18日
 - ・北川物産(株)湯涌砕石工場に新たに再生粒度調整採石製造ラインを増設し製造を開始する。
- 平成27年11月21日
 - ・日本海生コン(株)に輸送部門を設け、製造、販売、輸送の一元化からコストダウンを図る。
- 平成28年2月29日
 - ・北川物産(株)大桑リプラ工場のコンクリートガラ受入れ口及び搬入路を改造した。
- 平成29年2月1日
 - ・北川運輸(株)が石川県の産業廃棄物収集運搬業の許可を取得した。
- 平成30年3月24日
 - ・花里ゴルフがICカード採用と最新の機器で利用者の利便性を向上するリニューアルをした。